

第47回岡山小児糖尿病サマーキャンプ開催要領（案）

1. 趣 旨

糖尿病は膵臓から分泌されるインスリンという、ホルモンの働きが不足するために起こってくる代謝の障害です。大人の糖尿病と違って、子供の10万人に1人～2人が発症するといわれている稀な『インスリン依存型』糖尿病です。

小児糖尿病の患児たちは、自ら1日5～7回血糖を測定し、それに基づいて自己注射か、機械（ポンプ）によるインスリン注入をしなければなりません。血糖値は、食事、運動と密接な関係にありますので、食事摂取も炭水化物量並びに栄養バランスを考え、運動に当たっても消費エネルギーを理解する必要があります。地域では稀な疾患であり、「自分だけがコントロールを強要されているのではないか」という孤独とストレスをもたらします。ともすれば、コントロールの乱れる生活を送りかねません。

そこで、小児糖尿病のこどもたちの仲間づくりや勇気づけ、正しい教育、自立を目的として、毎年岡山小児糖尿病サマーキャンプを開催しています。

2. 意 義

野外の自然環境のなかで簡易素朴な生活を通して、自由と規律を学び、人間性の向上を図ります。活動を通して、協力・責任・ルールへの遵守・公正な態度などが要求され、健全な社会生活に必要な協調性・責任感・自発性が養われます。

3. 目 的

(1)医療教育の場としての目的

子供達が社会でどのような自己管理をしながら安全に生活するかをチェックします。

- ① 指示された食事を、正しく摂取する技術
- ② インスリン注射を、安全に行う技術
- ③ 血糖、尿糖検査を正しく行い、自分の状態を正しく評価する技術
- ④ 低血糖・高血糖の防止、自己管理を正しく行う技術

(2)社会的・心理的適応の目的

子供達は成長するにつれて両親からの支配、影響から抜け出し、精神的にも自立しようとしてきます。特に、思春期から青年期にかけて「自我」に目覚める時期です。糖尿病の子供達の中には、低血糖や将来の合併症・進学・就職・結婚などに、不安を抱き悩んでいることがあります。また糖尿病の子供を持った親たちの中には、病気が発症したことに対して自責の念をもち、さらには将来の不安などから子供達に対して過保護・過干渉となり、子供の自立を妨げるように働くことも少なくありません。結果、不安、抑うつ状態など心理的不適応状態、孤立感を起こし療養生活も乱れがちになります。

キャンプでの活動は、子供同士（キャンパー）・すでに社会人となったポストキャンパー（OB・OG）等と広く接触交流することによって、日頃の悩み・疑問・不安などを出し合い、お互いの生き方を理解する手助けとなることと思います。

このような交流を通して孤独感や不安感、あるいは抑うつ的な精神状態感から開放されることができ、自信を持ち自ら意欲的に社会に適応するきっかけをつくることができます。

4. 主催

岡山小児糖尿病協会（岡山つぼみの会）<http://okayamatubomi.web.fc2.com/>

5. 共催

公益社団法人日本糖尿病協会、一般社団法人日本糖尿病学会中国・四国支部、岡山県糖尿病協会、岡山赤十字病院

6. 協力団体

岡山大学病院、岡山済生会総合病院、ノートルダム清心女子大学、倉敷中央病院、福山市市民病院、井原市民病院、川崎医科大学総合医療センター、重井医学研究所附属病院、川崎医科大学附属病院、岡山医療センター、岡山市立市民病院、赤穂市民病院、かなもと医院、公益社団法人岡山県栄養士会、岡山医療センター附属岡山看護助産学校、倉敷中央看護専門学校、ノートルダム清心女子大学食品栄養学科、吉備国際大学看護学科、岡山労災看護専門学校、岡山赤十字看護専門学校、WA!の会、医薬品・医療機器メーカー

7. 開催期日・場所

令和7年8月17日（日）～8月20日（水） 3泊4日

岡山県青少年教育センター閑谷学校 備前市閑谷784

TEL0869-67-1427 <http://shizutani.jp/>

8. 日程

別添日程表参照

9. 参加対象者

18才未満の糖尿病患者（未就学児童は保護者同伴必須）……20名募集
保護者も参加可能。この場合、実費負担要（1泊3,000円程度）

10. スタッフ

岡山県や近隣県の病院の医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等医療スタッフ
ボランティア（学生ボランティア・MRを含む）・OBOG・保護者・事務局員等

11. 集合日時・場所

令和7年8月17日（日）9時30分 ※スタッフは9時集合

岡山赤十字病院敷地内 南館1階研修室 岡山市北区青江二丁目1番1号

12. 解散場所

岡山赤十字病院敷地内 南館1階研修室

13. 参加費（キャンプ参加初日に徴収いたします）

(1) キャンパー

会 員 1日 / 5,000円（食事回数による変動なし）

非会員 1日 / 8,000円（ 上記に同様 ）

(2) スタッフ

1食 500円（学生ボランティア・OB、OGは無料）

14. 持参するもの等

(1) キャンパー（全ての持ち物に記名をする）

- ① ゲーム等は持ち込まないこと
- ② 着替え（服、帽子、体操服〈パジャマ用・胸に名前を書いたものを貼ること〉、替下着、ハンカチ、タオル等、※プールがある場合は水着・スイミングキャップ・ゴーグル）その他行事に合わせ必要と思われるもの。
※山中での活動がある場合の服装：長袖・長ズボンの服、帽子、靴下、運動靴（スニーカー等）を持参下さい。
シャンプー・リンス・ボディソープ、歯ブラシ、ドライヤー
- ③ 糖尿病手帳（血糖自己測定ノート）
- ④ 体育館シューズ、室内履き
室内は室内履きでも構いませんが、体育館で運動することがありますので体育館シューズを持参下さい。
- ⑤ リュックサック（移動用）、水筒、雨具
- ⑥ 虫よけスプレー等（必要な場合）
- ⑦ サマーキャンプのしおり

下記については参加時、事務局でお預かりしますので受付の際に提出下さい。

- ⑧ 保険証のコピー（患者本人を確認します）
- ⑨ インスリン及び注射器具、自己血糖測定用関係物
*ご自宅で血糖測定・注射するとき使用するもの。センサーは多めに！
*インスリンポンプを使用する方は、カニューレ部分を多めに用意ください。

⑩ その他

- ・その他生活に必要なと思われるもの
- ・補食は準備しますので持参しないようにして下さい。なお、特別に必要な方は、持参の上事務局へ届けてお預け下さい。
- ・キャンプ期間中の買い物は禁止とします。電話代として小銭を持参しても結構ですが、大金は持参しないようにして下さい。

⑪ 予備のマスク、手指消毒液もしくはジェル（持ち運び用）

⑫ ハンドクリーム（手が荒れる人）

(2)スタッフ、学生

キャンプ中の服装は基本的に自由ですが、派手な服や露出が多い服は控え、節度のある動きやすい服装（T シャツ・ジャージ・体育館シューズ等）で参加願います。山中でのレクリエーション等がある場合は長袖、長ズボン、帽子、スニーカー等の準備をお願いします。またプールがある場合は水着、スイミングキャップ（必須）、ゴーグル（任意）等が必要です。

15. 申込み・問合せ先

岡山小児糖尿病協会事務局（岡山赤十字病院 医療社会事業部 社会課）

住所：〒700-8607 岡山市北区青江二丁目1番1号

TEL：086-222-8811 内線12200

FAX：086-222-8841 Mail：shakai@okayama-med.jrc.or.jp

16. 申込締切日

令和7年6月20日（金）必着

参加人数が20名になり次第締め切りとさせていただきます。

(注)申込書類一式（申込用紙・連絡表・写真・食物アレルギーの有無）全て提出された時点で受付となります。また、記載漏れのないようお願いいたします。

17. 注意事項

- ①ゲーム等は持ち込まないこと
- ②スタッフの言葉には忠実に従うこと
- ③時間の励行、迅速な行動に努めること
- ④施設は当協会の貸切ではなく、他団体の利用者もおられます。
- ⑤今後のサマーキャンプ血糖コントロール改善等研究の為、個人を特定出来ない扱いでデータを使用する場合があります。
- ⑥スタッフ・学生の方においては、個人のカメラでの写真撮影に規制はしませんが、特に研究・発表で画像を使用する場合は、本人及び事務局の許可が必要となりますので、ご承知おき願います。基本的に患児と共に行動することを第一に考えて下さい。
- ⑦キャンセルの場合、全額返金にならないこともありますのでご了承ください。
なお、返金に係る振込手数料は、本人負担でお願いします。
- ⑧キャンプ期間中に悪天候が予想される場合は、キャンプ前日16時までに実施可否を連絡致します。

..お願い..

○事務局、保護者等が随時活動の様子を撮影します。撮影した写真を後日文集、新聞等のマスコミ、各種ホームページ等で使用させてもらうことがありますので了解願います。都合が悪い方は、事前に事務局へお知らせ下さい。

○8月17日(日) キャンプ初日の午前中から、岡山赤十字病院で準備として資材を運んだり会場準備を行いますので、お手伝いいただける方は、社会課まで連絡して下さい。